

変化する時代に選ば

「二人一人の想いをカタチに」そして未来へ

帝塚山学園園長 富岡 将人



創刊号においては、「成せばなるの精神」、「各々校園の教育連携の強化」についてお話ししました。今回は、現在取

り組んでいる施策の一端を具体的にお話しします。

大学では、平成30年度からスタートする経済経営学部につき、平成31年度から現代生活学部こども学科を学部昇格して、「教育学部こども教育学科」を設置することとし、現在法人と大学が連携して文部科学省への諸手続を進めています。それに先立ち、今年度から学園に教育連携室と大学に教職支援センターを新たに設置しました。両者が連携して一人一人の想いをカタチにすべく幼稚園教諭・保育士・小学校教諭の採用試験対策、支援をスタートさせました。4年生対象の直前対策でしたが、学生たちから好評で、現在、少しずつ結果も出てきています。

次に、学園の小学校から中学校への内部進学推薦制度の確立です。勿論、校種間の考え

方の違いを一定認めながら、同一学園という大同に就くことが必要です。そこで、「教育連携小中管理職連絡会議」を立ち上げ、8回の会議を重ねてきました。情報のさらなる共

有化を目指し、当面の「確認事項」としてまとめることができました。今後は、この会議を小中学校の諸問題を解決するツールとして発展させていきたいと考えています。あくまでも、学園全体で連携し知恵を出し合い「帝塚山教育を通じて、変化する時代に選ばれ続ける総合学園」を築き上げたいと思っています。

愛称は「T-time」に！

最優秀作品に平岡諒子さん（大学現代生活学部こども学科4年生）

吉川勝久理事長を委員長とする「学園広報誌愛称選考委員会」で、現代生活学部こども学科4年生、平岡諒子さんの「T-time」が最優秀作品に選ばれました。

平岡さんは「T-time」のTはTezukayama, timeは時を表しています。帝塚山学園で過ごす時は、人生でかけがえのない大切な時間で、過去、現在、未来へと繋がる一つの時代でもあります。また、「デイタイム」はお茶を飲み、何気ない会話を交わしながら、ほっとできるくつろいだ時間でもあります。これから先も学園広報誌が「T-time」の愛称で学園に関わる人たちのコミュニケーションのツールとなり、長く愛されればとの想いで名付けまし

「長く愛されるように」

「と話してくれました。平岡さんは、大学入学以来、保育士を目指し、4月開設の教職支援センターに通いながら第1志望の神戸市職員・保育士に見事合格しました。愛称募集に際し、大学、中高、小学校の在校生や同窓生の皆様から多くの応募をいただき誠にありがとうございました。皆様から愛されました。皆様から愛され親しまれる広報誌にしていきたいと思っております。」



富岡学園長から表彰された平岡さん